

## 10 付き添いの背景

### ■ 付き添い入院希望の有無

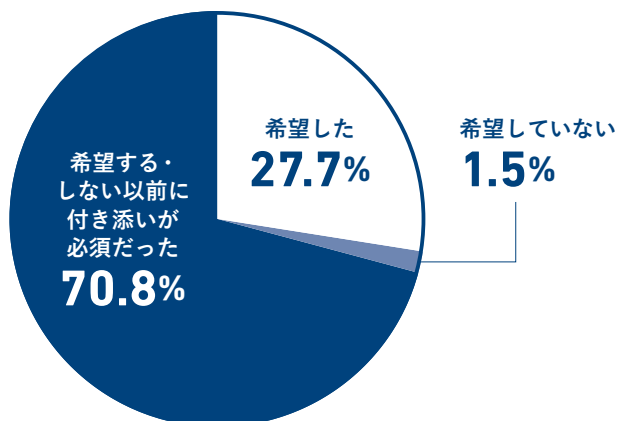
付き添い入院を希望していたかについては「希望する・しない以前に付き添いが必須だった」という回答が70.8% (n=2,322/3,282)を占めた。「希望した」は27.7% (n=910/3,282)、「希望していない」は1.5% (n=50/3,282)であった。

年齢3区分別にみると「付き添いが必須」の割合は、乳児(1歳未満)76.9% (n=820/1,067)、幼児(1歳~6歳未満)73.2% (n=1,185/1,619)、児童(6歳以上)53.2% (n=317/596)だった。「付き添いを希望」の割合は、乳児21.7% (n=232/1,067)、幼児25.5% (n=412/1,619)、児童44.6% (n=266/596)、「付き添いを希望しない」は乳児1.4% (n=15/1,067)、幼児1.4% (n=22/1,619)、児童2.2% (n=13/596)であった。

付き添いの形態別にみると、付き添い入院の場合、「付き添いが必須」76.0% (n=1,987/2,614)、「付き添いを希望」23.1% (n=604/2,614)、「付き添いを希望しない」が0.9% (n=23/2,614)であるのに対し、付き添いと面会の両方の場合、「付き添いが必須」が50.2% (n=335/668)、「付き添いを希望」45.8% (n=306/668)、「付き添いを希望しない」4.0% (n=27/668)であった。

病院の種別にみると「付き添いが必須」の割合は、大学病院(分院を含む)71.6% (n=1,021/1,427)、大学病院・子ども病院以外の病院79.2% (n=1,057/1,335)で高く、子ども病院では45.8% (n=226/494)であった。「付き添いを希望」の割合は、26.6% (n=379/1,427)、子ども病院52.2% (n=258/494)、大学病院・子ども病院以外の病院19.9% (n=265/1,335)だった。

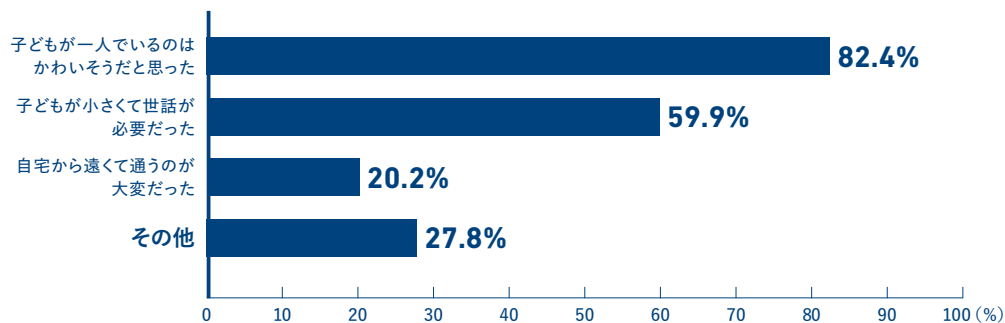
図表22 付き添い入院希望の有無 (n=3,282)



## ■ 付き添いを希望した理由

付き添いを「希望した」910人に対し、その理由を3つの選択肢で尋ねると「子どもが一人であるのはかわいそうだった」82.4% (n=750/910)、「子どもが小さくて世話が必要だった」59.9% (n=545/910)、「自宅から遠くて通うのが大変だった」20.2% (n=184/910)という回答であった。

図表23 付き添いを希望した理由 (n=910 無回答=2,733)



「その他」として具体的に記入された内容のうち、代表的なものを挙げると以下のとおりである。

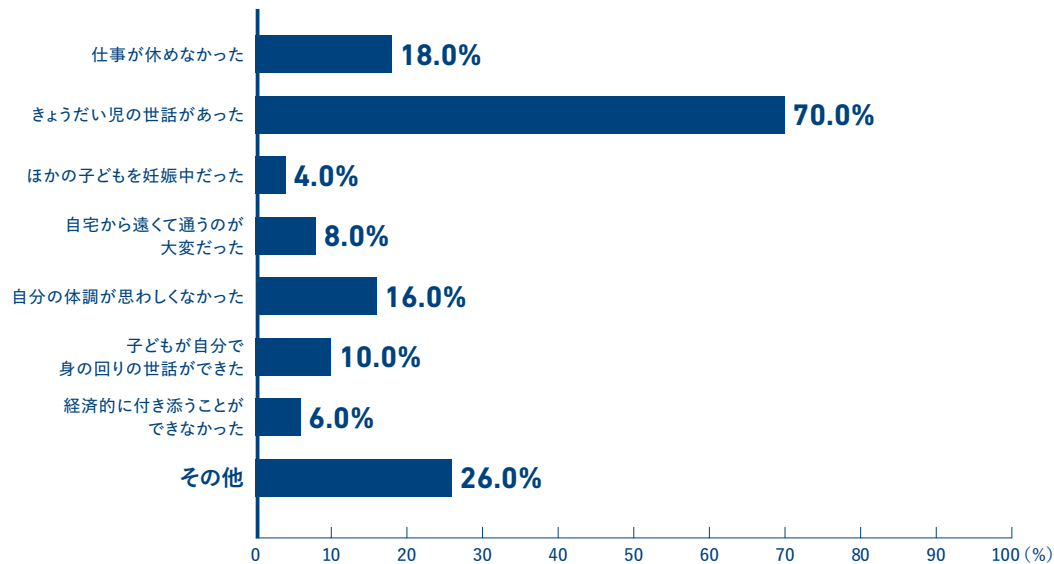
- 医療ミス、医療トラブルを防ぐため (多数)。
- 障害、気管切開等により子ども自身によるコミュニケーションが困難なため (多数)。
- 子どもの希望、子どもの精神的安定のため (多数)。
- 一緒にいたかった、そばで経過をみたかった (多数)。
- 病院／看護師に不信感があった、安心してまかせられない (多数)。
- 付き添うのが当たり前という雰囲気だった (多数)。
- コロナ禍のため面会が制限され、付き添いしないと会えなかった (多数)。
- 授乳のため (多数)。
- (付き添いしないと) 排泄や清拭などのケアを毎日行うことができないといわれた。

子どもの年齢区分別にみても、ほぼ同様の傾向であった。

## ■ 付き添いを希望しなかった理由

付き添いを「希望しなかった」50人についてその理由をみると、「きょうだい児の世話がいった」70.0% (n=35/50)の割合が最も高かったが、仕事18.0% (n=9/50)、体調16.0% (n=8/50) など他の理由も挙げられた。

図表24 付き添いを希望しなかった理由 (n=50 無回答=3,593) 複数回答



「その他」として具体的に記入された内容のうち、代表的なものを挙げると以下のとおりである。

- コロナ禍で付き添いを開始すると24時間病院から出られなくなる
- 大変すぎる、身体がきつい、体調が悪くなる など

子どもの年齢区別に大きな違いはみられなかった。

## ■ 病院からの付き添い要請の有無

病院から付き添い入院の要請があったかどうかについては、「要請された」79.1% (n = 2,596 / 3,282)、「要請されていない」20.9% (n = 686 / 3,282)であった。

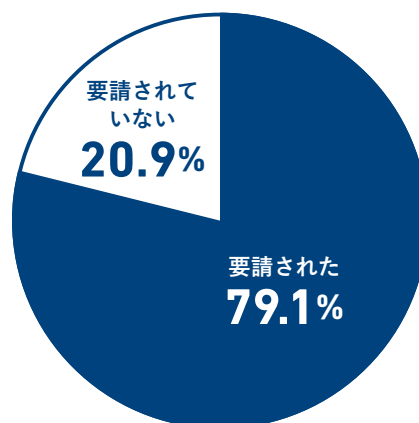
年齢3区分別に「要請された」という回答の割合をみると、乳児（1歳未満）85.8% (n = 915 / 1,067)、幼児（1歳～6歳未満）80.5% (n = 1,304 / 1,619)、児童（6歳以上）63.3% (n = 377 / 596)だった。

入院の時期（コロナ禍以前か以後か）別で、傾向に違いはなかった。

病院の種別にみると「付き添いを要請された」割合は、大学病院（分院を含む）80.4% (n = 1,147 / 1,427)、大学病院・子ども病院以外の病院85.8% (n = 1,146 / 1,335)で高く、子ども病院では57.3% (n = 283 / 494)であった。

付き添いの形態別にみると、「付き添い入院のみ」の83.1% (n = 2,171 / 2,614)、「付き添い入院と面会の両方」の63.6% (n = 425 / 668)で付き添いを要請されている。

図表25 病院からの付き添い要請の有無 (n=3,282)



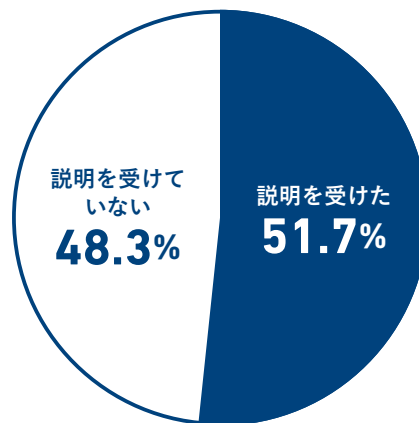
### ■ 付き添いの理由についての説明有無

泊まり込んで付き添う理由について説明があったかどうかについては、「説明を受けた」51.7% (n = 1,697 / 3,282)、「説明を受けていない」48.3% (n = 1,585 / 3,282)であった。

子どもの年齢区分別に大きな違いはみられなかった。入院の時期別(コロナ禍以前か以後か)、病院の種別でも、傾向に大きな違いはなかった。

病院からの付き添い要請の有無と、理由の説明有無の関連をみると、付き添いを要請された2,596人のうち、付き添い理由の説明を受けたのは57.7% (n = 1,497 / 2,596)、受けていないのは42.3% (n = 1,099 / 2,596)であった。付き添いを要請されていない686人のうちで、付き添い理由の説明を受けたのは29.2% (n = 200 / 686)、受けていないのは70.9% (n = 486 / 686)であった。

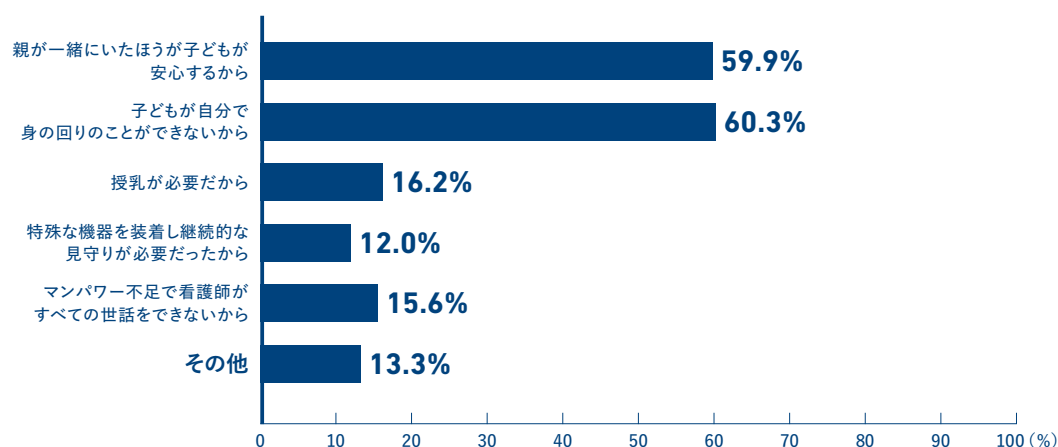
図表26 付き添いの理由についての説明有無 (n=3,282 無回答=361)



## ■ 付き添いについて説明された内容

病院から付き添いの理由について説明を受けた1,697人に対し、どのような説明を受けたのか複数回答で尋ねると、「子どもが自分で身の回りのことができないから」60.3% (n = 1,021 / 1,697)、「親と一緒にいたほうが子どもが安心するから」59.9% (n = 1,014 / 1,697)の割合がともに高かった。「マンパワー不足で看護師がすべての世話をできないから」も15.6% (n = 264 / 1,697) みられた。また入院児の事情に関連し「授乳が必要だから」16.2%、「特殊な機器を装着し継続的な見守りが必要だったから」12.0% (n = 203 / 1,697) という回答もあった。

図表27 付き添いについて説明された内容 (n=1,694) 複数回答



「その他」として具体的に記入された226件のうち、代表的な内容を挙げると以下のとおりである。

- 一定年齢（18歳未満、小学6年生以下、未就学児、小さい子ども…等）は付き添い必須といわれた（多数）
- 病院の決まり、原則だから（多数）
- 退院後在宅で医療的ケア、食事療法、リハビリ等ができるように練習・準備するため（多数）
- コロナ禍で病院への出入りが禁止のため、付き添い入院（病院を出られず）か退院まで面会なしかの二者択一だった（多数）
- 発作の状態の見守り、記録が常時必要（5人程度）

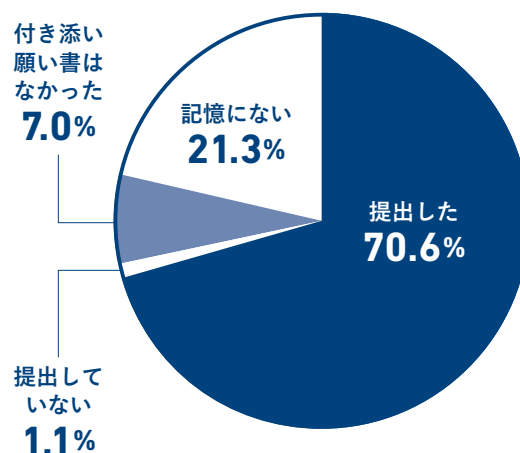
子どもの年齢区分別にみると、「親と一緒にいたほうが子どもが安心するから」は、乳児（1歳未満）51.0% (n = 283 / 555)、乳児（1歳～6歳未満）62.3% (n = 519 / 834)、児童（6歳以上）69.5% (n = 212 / 305) と年齢があがるほどやや割合が上昇した。「子どもが自分で身の回りのことができないから」は、乳児61.3% (n = 340 / 555)、幼児67.4% (n = 562 / 834)、児童39.0% (n = 119 / 305) と幼児が最も高い。「授乳が必要だから」は乳児で40.9% (n = 227 / 555) があてはまると回答した。

## ■ 付き添い願い書提出の有無

付き添い入院する際に、付き添い願い書（付き添い入院を申請する書類）に署名し、提出したかどうかについて尋ねると、70.6%（ $n=2,317/3,282$ ）が「提出した」と回答した。「提出していない」は1.1%（ $n=37/3,282$ ）、「付き添い願い書はなかった」7.0%（ $n=229/3,282$ ）という回答もあり、「記憶にない」も21.3%（ $n=699/3,282$ ）みられた。

付き添い願い書を提出した割合について、年齢区分別に大きな違いはなかった。病院からの付き添い要請有無別、病院の種別でも大きな違いはみられなかった。

図表28 付き添い願い書提出の有無  
( $n=3,282$ )



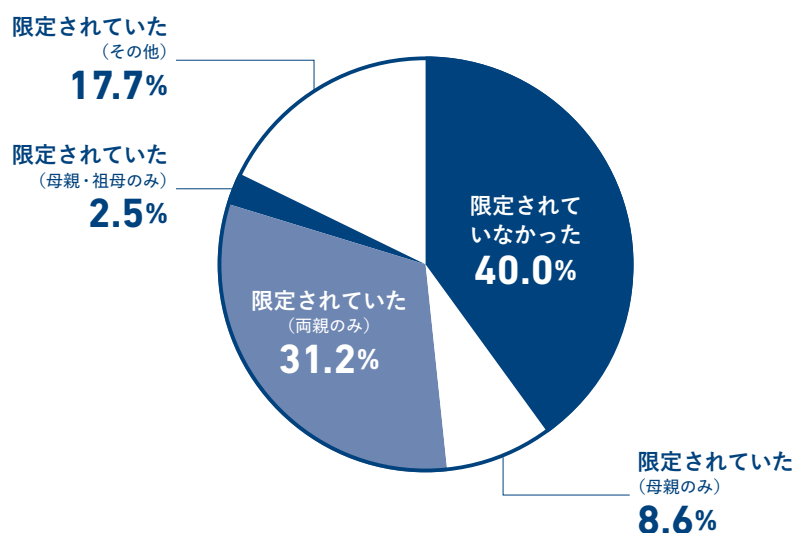
## 11 付き添い者の状況

### ■ 付き添い者限定の有無

付き添い者が病院から限定されていたかどうかについて、コロナ禍前（2019年12月以前）とコロナ後（2020年1月以降）にわけると、「付き添い者が限定されていなかった」割合は、コロナ前64.3%（ $n=346/538$ ）からコロナ後44.6%（ $n=966/2,164$ ）に低下していた。「両親のみと限定されていた」はコロナ前24.7%（ $n=133/538$ ）からコロナ後41.2%（ $n=892/2,164$ ）、「母親のみと限定されていた」はコロナ前7.6%（ $n=41/538$ ）からコロナ後11.2%（ $n=242/2,164$ ）に上昇していた。

病院の種別にみると、子ども病院では「限定されていなかった」割合が低く、「両親のみと限定」の割合が高い。

図表29 付き添い者の限定の有無（ $n=3,282$  無回答=361）



## ■ 主な付き添い者

入院中の主な付き添い者は、「入院児の母親」が95.1% (n = 3,122/3,282) と圧倒的に高い割合を占めた。「入院児の父親」は2.3% (n = 75/3,282) であった。

## ■ 付き添いを交代してくれる人

付き添いを交代してくれる人がいたかどうか、いた場合は誰だったかを複数回答で把握すると、「交代者はいなかった」28.6% (n = 938/3,282)、「交代できなかった」22.2% (n = 730/3,282) であった。

交代者のいる場合、「配偶者・パートナー」42.6% (n = 1,399/3,282) の割合が最も高く、「回答者の実母」9.7% (n = 319/3,282)、「回答者の義母」3.9% (n = 129/3,282) がこれに次いだ。

コロナ禍前（2019年12月以前）とコロナ後（2020年1月以降）にわけてみると、「交代できなかった」割合は、コロナ前7.1% (n = 43/607) からコロナ後26.6% (n = 687/2,582) へと上昇していた。

図表30 付き添いを交代してくれる人 (n=3,282 無回答=361) 複数回答

